

個別事業(取組)評価			
事業No.	59	施策の柱への位置付け	柱⑬ 文化財の保存と活用
事業名称	国指定文化財の新たな指定等に向けた取組	担当課	文化財課
		当初予算額(千円)	-
		補正後予算額(千円)	-
		決算額(千円)	-

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 次々と新たな指定に取り組むという状況にはないが、毎年1、2件の指定や選定を受けている。指定のきっかけは様々で、受動的な傾向があるものの、県内関係者の長年の調査や研究が結実するものも少なくない。県内には他にも取り上げられるべき文化財があると考えられることから、調査研究を助長することや情報を集め積極的に提案していくことが必要である。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 文化的景観と重要文化財の選定・指定について、市町村とも連絡調整を行い正確に把握できた。
		【要因】 文化財保護審議会、市町村教育委員会等の既存の関係機関や有識者との連携の強化	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 市町村や関係機関との連携を強化し、十分に特定できた。
②	目標(Outcome)	◆ 平成21年度、高知県天然記念物とした「四万十町小鶴津の震源断層」を含む四万十帯数力所が国指定天然記念物(地質)に指定されるよう取り組むとともに他の分野についても指定に向けた取組を進める。また、これらの取組を通じて地域の文化財への理解を深める。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 昨年度県の天然記念物に指定されたものや、国の追加指定を受けるものなど、達成可能で具体的な目標を設定していた。
		【検証(比較)方法】 ◆ 国指定文化財の新たな指定	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 以下の新たな選定・指定を行うことができたことにより、新聞報道などを通してPRが行われるなど、地域の文化財への理解を深めることができた。 ・ 小鶴津の興津メランジュ及びシュードタキライトの天然記念物指定 ・ 五色ノ浜の横浪メランジュの天然記念物指定 ・ 四万十川流域の文化的景観上流域の農山村と流通・往来の追加選定 ・ 久礼の港と漁師町の景観の新選定 ・ 南国市後川流域のエンコウ祭の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択 ・ 養花院の木造菩薩座像の重要文化財指定 ・ 豊楽寺の木造両脇侍像と木造二天王立像の重要文化財指定
③	実施内容(Input・Output)	◆ 高知県文化財保護審議会委員等の協力による事前調査及び資料整理 ◆ 文化庁専門調査官の現地調査協力 ◆ 国指定文化財指定に必要な助言等協力(所有者の承諾、管理団体の決定、必要資料の作成等)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 文化財保護審議会委員及び文化庁調査官の現地指導や調査協力を適切に得て、所有者の承諾や管理団体の決定、必要資料の作成等文化財の指定・選定等に必要な作業が効率的に実施できた。

総合評価と今後の方向	目標達成度	A	「No」を選択した項目	
	【総合評価】	文化財保護審議会委員の協力や文化庁の指導を得ながら、指定等に向けて取り組み、当初予定した文化財より多くの文化財が、国の指定等を受けることができた。(4件→7件)		
【今後の方向】		今後も関連市町村と連携し、文化財保護審議会委員の協力や文化庁の指導を得ながら、新たな指定等が得られるよう務める。		